楽天IDのパスキー利用ガイド

Version. 1.00

Rakuten

パスキー利用前の注意事項

パスキーを安心・便利にご利用いただくため、設定前に以下の内容を必ずご確認ください。

1. パスキーは「楽天ID」と「クラウドのアカウント」の両方に紐付けられます。

同じクラウドのアカウント（Apple Account や Google アカウント）に紐づく複数の端末間では、パスキーが自動的に同期されます。そのため、利用している端末ごとにパスキーを登録する必要はありません。

例: Apple Accountにサインインした状態のiPhoneで、楽天IDのパスキーを登録すると、同じアカウントにサインインしているiPadやMacでも、追加の登録操作なしでパスキーログインが可能です。

> ⓘ **パスキーを削除する際は、必ず「楽天IDのパスキー管理ページ」から行ってください。**
> 削除する順番が異なるとログインができなくなる等の不具合が生じる可能性があります。

---

2. 機種変更を行う際は、旧端末と新端末の両方が必要です。

機種変更を行う際は、「旧端末が手元にあるか、パスキー登録済みのクラウドのアカウントによりパスキー認証ができる状態」であることが必須です。旧端末を初期化したり手放したりする前に、必ず「機種変更時の手順」（→p.4）をご確認ください。

---

3. パスキーの追加や削除を行う際は、必ず端末の標準ブラウザ（SafariやChrome等）を利用してください。

SNSアプリなどの「アプリ内ブラウザ」からアクセスすると、パスキーが正しく動作しない場合があります。

4. パスキーを設定することで、楽天グループのパスキー対応サービスを利用する際、同一のパスキーでログインできるようになります。

パスキーを設定済みであれば、楽天グループのすべてのパスキー対応サービスで共通して利用できます。対応サービスは順次拡大されます。追加されたサービスでも、パスキーをそのままご利用いただけます。

ⓘ **パスキーを削除すると、楽天グループのすべてのパスキー対応サービスでパスキーが利用できなくなります。**

ⓘ **楽天証券のログインには、楽天IDとは別の「ログインID」を使用します。そのため、楽天IDで設定した「パスキー」は楽天証券ではご利用いただけません。**

楽天証券のパスキーでのログイン方法について詳しく知りたい場合は、楽天証券サイトのパスキー認証（FIDO2）よくあるご質問をご確認ください。

ⓘ **楽天IDのパスキーは最大5つまでパスキーを登録可能ですが、楽天ウォレットにおいて認証に利用できるのは、最初に登録された1台目のデバイスのみとなります。**

機種変更時の手順

【パスキーの同期確認と再設定】

機種変更を行う際は、必ず新しい端末から「パスキー管理ページ」へアクセスし、既存のパスキーを利用してログインできるかご確認ください。

パスキーでログインできる場合

追加の対応は必要ありません。そのまま既存のパスキーをご利用ください。

パスキーでログインできない場合

以下の手順で追加設定を行なってください。

1　二次元コードやエラー画面などが表示され、パスキーでログインできない場合は、新しい端末で「追加パスキーの設定」を行ってください。

> ⓘ **機種変更を行う際は、旧端末と新端末の両方が必要です。**
> 旧端末が手元になく、パスキーでログインができない場合は、お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口へお問い合わせください。

2　**不要になったパスキーの削除**
新しい端末でパスキーログインができることを確認してから、旧端末の情報を「パスキー管理ページ」より削除してください。

楽天IDのパスキー利用ガイド

macOS版

Version. 1.00

Rakuten

目次

利用環境を確認する **3**

OSとブラウザのバージョンを確認する 3

「Apple Account」にサインインする 4

iCloudキーチェーンを有効にする 5

「パスワードとパスキーの自動入力」を有効にする 6

生体認証を有効にする 7

パスキーを設定する **3**

macOSでSafari利用時 8

macOSでChrome利用時 9

パスキーでログインする **10**

パスキーを追加する **11**

パスキーを削除する **13**

操作中端末のパスキーを削除する(macOSでSafari利用時) 13

操作中端末のパスキーを削除する(macOSでChrome利用時) 14

操作中端末で別端末のパスキーを削除する 15

設定状況を確認する **17**

画面別トラブルシューティング **19**

macOSで二次元コードが表示される 19

メールアドレスによる二要素認証を求められる 21

「この端末のパスキーは既にクラウドへ登録済みです」と表示される 22

解決策が見つからない場合 **23**

利用環境を確認する

OSとブラウザのバージョンを確認する

パスキーを利用するには、OSがmacOS Ventura 13.0以上である必要があります。

以下の手順で、現在のmacOSバージョンをご確認ください。

> ⓘ パスキーを初めて設定する場合は、生体認証が利用できるスマートフォンで設定してください。

1 「システム設定」の「一般」から「情報」を開き、「macOS」の項目をご確認ください。



2 利用ブラウザが以下の条件に当てはまるかご確認ください。

- Chrome 109 以降
- Safari 16 以降
- Edge 109 以降
- Firefox 122 以降

> ⓘ **利用条件を満たしていない場合**
>
> 「システム設定」→「一般」→「ソフトウェアアップデート」から、最新バージョンにアップデートしてください。

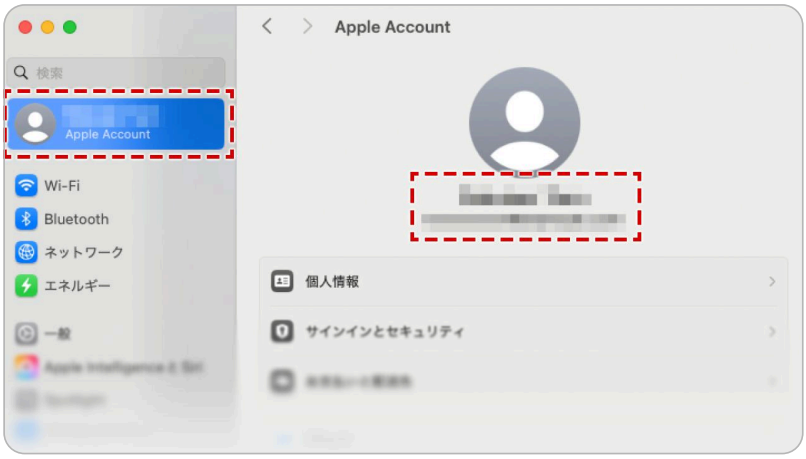
利用環境を確認する

「Apple Account」にサインインする

パスキーを作成・同期するには、サインインしている必要があります。

以下の手順で、現在のサインイン状況をご確認ください。

1 「システム設定」を開き、「Apple Account」の項目をご確認ください。



2 「サインイン」または「Apple Accountでサインイン」と表示されます。「サインイン」をクリックし、Apple Accountとパスワードを入力してサインインしてください。

サインイン済みの場合:

ご自身のお名前やアイコンが表示されます。クリックすると登録されているメールアドレスなどの詳細が確認できます。

3 ご利用のブラウザで、アカウントにログインしているかご確認ください。

- **Safariをご利用の場合**
  Apple Accountにログインしてください。
- **Chromeをご利用の場合**
  Google アカウントにログインしてください。

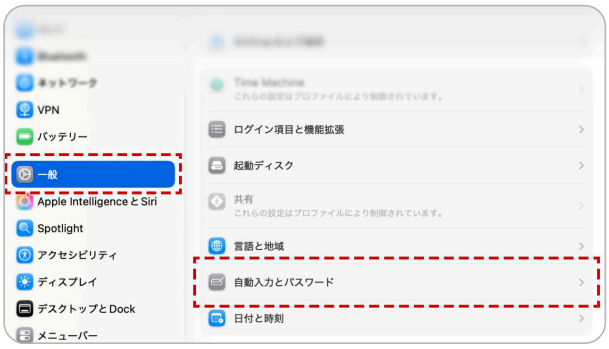
利用環境を確認する

iCloudキーチェーンを有効にする

macOSで「iCloudキーチェーン」を有効にすると、同じApple Accountを利用しているすべての端末でパスキーが同期され、端末ごとに設定作業をすることなく利用できるようになります。

以下の手順で、macOSの同期設定を有効にしてください。

1 「システム設定」を開き、「一般」から「自動入力とパスワード」をクリックします。



2 「パスワード」をクリックします。

※端末によって「**パスワードとキーチェーン**」と表示される場合があります。



3 「このMacを同期」を有効にして、「完了」をクリックします。



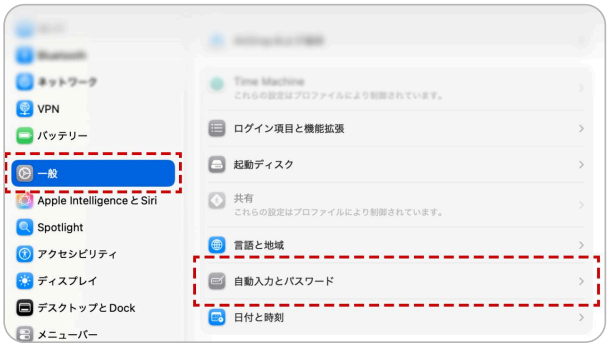
利用環境を確認する

「パスワードとパスキーの自動入力」を有効にする

パスキーの設定やログインをスムーズに行うため、macOSで以下の設定を有効にしてください。この設定が無効の場合、パスキーの設定ボタンが表示されない、またはログイン時にパスキーが正しく呼び出せない可能性があります。

以下の手順で、自動入力設定を有効にしてください。

1 「システム設定」を開き、「一般」から「自動入力とパスワード」をクリックします。



2 「パスワードとパスキーを自動入力」を有効にします。



利用環境を確認する

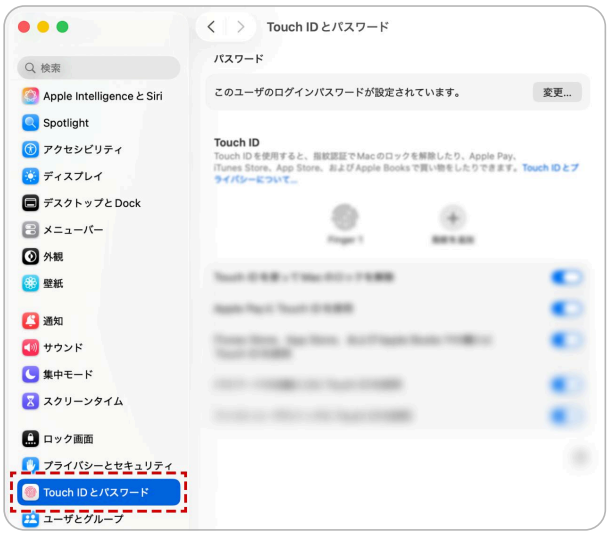
生体認証を有効にする

パスキーを利用するには、macOSに端末のロック解除方法（パスワード、指紋認証）が設定されている必要があります。

以下の手順で、生体認証を設定してください。

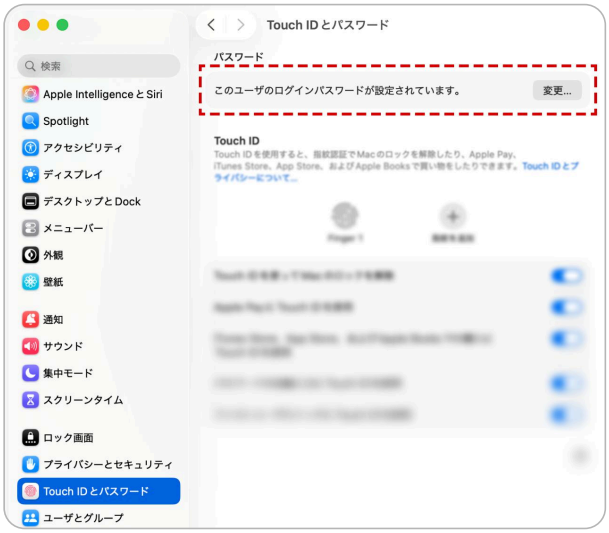
1 「システム設定」を開き、「Touch IDとパスワード」をクリックします。

※Touch IDがない場合は、「ログインパスワード」または「パスワード」と表示されます。



---

2 「パスワード」項目の「変更」ボタンが有効になっているかご確認ください。



パスキーを設定する　macOSでSafari利用時

ⓘ パスキーを初めて設定する場合は、生体認証が利用できるスマートフォンで設定してください。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、「新しいパスキーを設定する」ボタンをクリックします。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 「パスキーを設定する」をクリックします。



3 表示されたメールアドレスに届いた認証コードを入力し、「認証して設定に進む」をクリックします。



4 「続ける」をクリックします。



5 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



6 「パスキーが設定されました」と表示されたら完了です。



※Safariの場合、パスキーはApple Accountに紐づいたiCloudキーチェーンに保存されます。

パスキーを設定する　macOSでChrome利用時

ⓘ パスキーを初めて設定する場合は、生体認証が利用できるスマートフォンで設定してください。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、「新しいパスキーを設定する」ボタンをクリックします。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



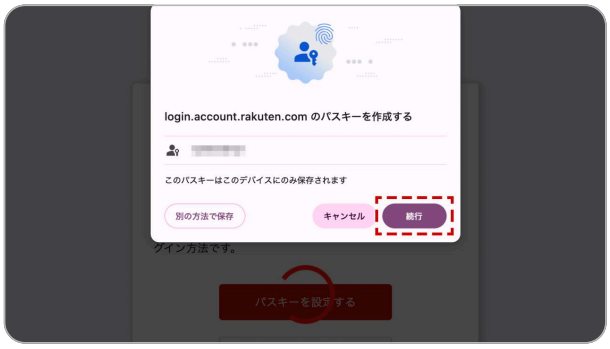
2 「パスキーを設定する」をクリックします。



3 表示されたメールアドレスに届いた認証コードを入力し、「認証して設定に進む」をクリックします。



4 パスキーの認証画面（システム画面）が表示されます。「続行」をクリックします。



5 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



6 「パスキーが設定されました」と表示されたら完了です。



※Chromeの場合、パスキーはGoogleパスワードマネージャーに保存されます。

パスキーでログインする

パスキー設定済みの端末では、以下の手順でパスキーを利用できます。

1 楽天サービスのログイン画面で、ユーザID（またはメールアドレス）を入力し、「次へ」をクリックします。



2 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。

※指紋認証を使用しない場合は、「パスワードを使用」をクリックし、パスワードを入力してください。



3 本人認証が完了すると、自動的にサービスの画面へ遷移し、ログインが完了します。

※ログイン後の画面は、ご利用のサービスによって異なります。

パスキーを追加する

操作中の端末にパスキーを設定する際、パスキー設定済みの別端末をお持ちの場合は、セキュリティ保護のため別端末での認証が必要です。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 操作中の端末で「パスキー管理ページ」にアクセスし、「新しいパスキーを設定する」ボタンをクリックします。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 本人認証のため「次へ」をクリックします。



3 画面に二次元コードが表示されます。



4 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。

※端末の機種により、二次元コードの読み取り方法が異なる場合があります。



5 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。

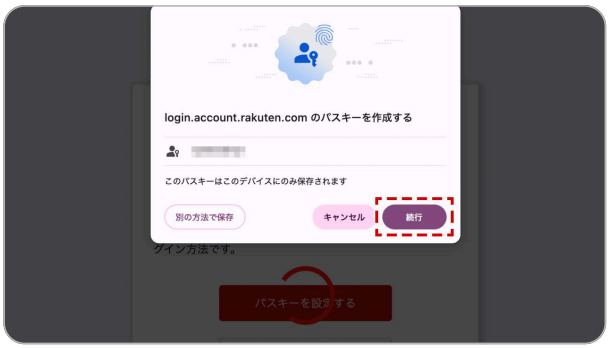
※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



6 別端末での本人認証が完了すると、操作中端末の画面が切り替わります。「パスキーを設定する」をクリックします。



7 パスキーの認証画面（システム画面）が表示されます。「続行」をクリックします。



8 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



9 「パスキーが設定されました」と表示されれば、この端末での追加設定は完了です。



操作中端末のパスキーを削除する

「パスキー管理ページ」で削除することができます。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、削除したいパスキーの右側にあるメニューをクリックして、「登録を削除する」を選択します。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 確認画面が表示されるので、「登録を解除する」をクリックします。

※表示されるメッセージは、パスキーの登録状況によって異なります。



3 本人認証のため「次へ」をクリックします。



4 「続ける」をクリックします。



5 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



6 「パスキーを削除しました」と表示されれば完了です。

※すべてのパスキーを削除した場合は、セキュリティ保持のため自動的にログアウトされます。



操作中端末のパスキーを削除する

「パスキー管理ページ」で削除することができます。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、削除したいパスキーの右側にあるメニューをクリックして、「登録を削除する」を選択します。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 確認画面が表示されるので、「登録を解除する」をクリックします。

※表示されるメッセージは、パスキーの登録状況によって異なります。



3 本人認証のため「次へ」をクリックします。



4 指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



5 「パスキーを削除しました」と表示されれば完了です。

※すべてのパスキーを削除した場合は、セキュリティ保持のため自動的にログアウトされます。



パスキーを削除する

操作中端末で別端末のパスキーを削除する

操作中端末で別端末のパスキーを削除したい場合は、パスキー設定済み端末による本人認証が必要です。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、削除したいパスキーの右側にあるメニューをクリックして、「登録を削除する」を選択します。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 確認画面が表示されるので、「登録を解除する」をクリックします。

※表示されるメッセージは、パスキーの登録状況によって異なります。



3 本人認証のため「次へ」をクリックします。



4 画面に二次元コードが表示されます。



5 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。

※端末の機種により、二次元コードの読み取り方法が異なる場合があります。



6 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



7 別端末での本人認証が完了し、操作中の端末で「パスキーを削除しました」と表示されれば完了です。

※すべてのパスキーを削除した場合は、セキュリティ保持のため自動的にログアウトされます。



別端末で二次元コードを読み取れない場合

画面別トラブルシューティング「macOSで二次元コードが表示される」をご確認ください。（→p.19）

設定状況を確認する

パスキーの設定状況が不明な場合、二次元コードやエラー画面が表示される場合は、「B.パスワードでログインする」をお試しください。

1

「パスキー管理ページ」にアクセスします。ユーザID(またはメールアドレス)を入力し、「次へ」をクリックします。

※パスキー利用環境に対応していない場合、またはパスキーを設定していない場合は、自動的にパスワード入力画面へ遷移します。



2

ログイン方法を選択します。

A.パスキーでログインする:画面の指示に従い、「続ける」をクリックします。

B.パスワードでログインする:パスキーの認証画面をキャンセルします。



3

選択した方法でログイン認証を行います。

A.パスキーでログインする

画面の指示に従って指紋認証またはパスワードで本人認証を行います。



B.パスワードでログインする

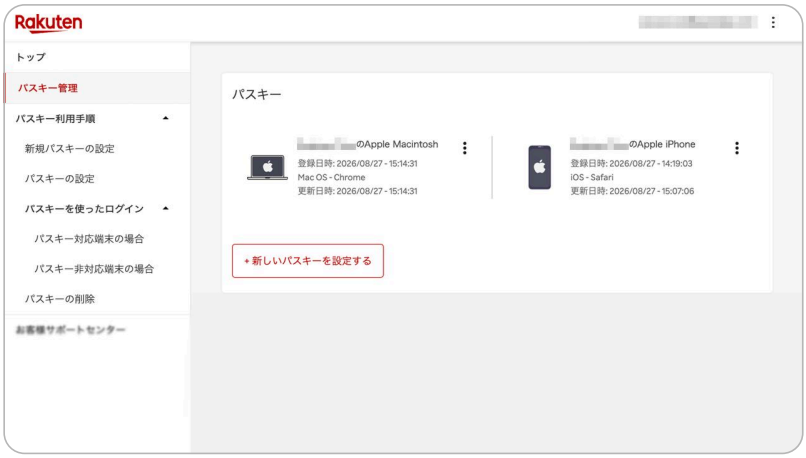
パスワード入力画面へ進んでパスワードを入力します。



4

本人認証が完了すると、パスキー管理ページが表示されます。

パスキー管理ページで確認できる内容



1. **登録済みの端末名**
2. **パスキーの登録日時**
3. **パスキーに紐づいたOS端末とブラウザ名**

ブラウザ名から、パスキーがどのクラウドのアカウントに保存されているかを確認できます。

- **「Safari」と表示されている場合**
  Apple AccountのiCloudキーチェーンに保存されています。
  （例:macOS - Safari、iOS - Safari など）
- **「Chrome」と表示されている場合**
  Googleパスワードマネージャーに保存されています。
  （例:macOS - Chrome、Android - Chrome など）
- **その他のブラウザ（Edgeなど）の場合**
  各ブラウザが提供する管理ツール、またはOSの機能に保存されています。

4. 最終利用日時（更新日時として表示されます）

macOSで二次元コードが表示される



原因

操作中端末にパスキーは設定されていないが、パスキー設定済みの別端末が存在する場合、認証用の二次元コードが表示されます。

対処方法

1. **設定状況を確認する**
   「パスキー管理ページ」にアクセスし、パスキー設定済みの別端末についてご確認ください。(→p.17)
2. **別端末で二次元コードを読み取れるか確認する**
   ・読み取れる場合
   標準カメラで二次元コードを読み取り認証を行ってください。(→p.20)
   ・読み取れない場合(パソコンなど)
   別端末で「パスキー管理ページ」を開き、「操作中端末のパスキーを削除する」を参考に別端末のパスキーを削除してください。(→p.13/p.14)
3. **操作中の端末でパスキーを設定する**
   「パスキー管理ページ」から設定してください。(→p.8/p.9)設定後、パスキーでのログインを再度お試しください。

> ⓘ **パスキー設定済みの別端末が手元にない場合**
> お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

macOSで二次元コードが表示される

別端末で二次元コードを読み取ることができる場合は、以下の手順で認証を行ってください。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 画面に二次元コードが表示されます。



2 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。



3 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。

※スマートフォンの機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



4 別端末での本人認証が完了すると、操作中の端末で自動的にサービスの画面へ遷移し、ログインが完了します。

※ログイン後の画面は、ご利用のサービスにより異なります。

メールアドレスによる二要素認証を求められる

パスキーを設定済みであっても、以下の理由によりメールアドレスによる二要素認証（認証コードの入力）へ切り替わることがあります。



原因

1. ご利用環境がパスキー非対応である
   ご利用のブラウザや端末がパスキーの利用条件を満たしていない場合、セキュリティ保持のため、自動的にメールアドレスによる二要素認証へ切り替わります。詳細は「利用環境を確認する」（→p.3 ）をご確認ください。
2. サービス側のセキュリティ仕様である
   サービスや機能の仕様により、パスキー設定の有無にかかわらずメールアドレスによる二要素認証が必要となる場合があります。

対処方法

設定の確認に時間がかかる場合や、お急ぎの場合は、登録メールアドレス宛に届く「認証コード」を入力することでもログインが可能です。

「この端末のパスキーは既にクラウドへ登録済みです」と表示される



原因

このメッセージはエラーではありません。操作中端末のブラウザ·アプリが連携しているクラウドのアカウント（Apple Account や Google アカウント）にパスキーが保存されている場合に表示されます。

- **Safariの場合**
  Apple Accountの「iCloudキーチェーン」に保存されています。
- **Chromeの場合**
  Googleパスワードマネージャーに保存されています。
- **Edge/Firefoxなどの場合**
  各ブラウザが提供する管理ツール、または端末のOS機能に保存されています。

対処方法

この画面が表示された場合、操作中の端末やブラウザでパスキーの設定は完了しています。

> **クラウドのアカウントにパスキーが存在しない場合**
> クラウドのアカウントに保存されているパスキーは誤って削除しないようご注意ください。削除してしまった場合は、お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

解決策が見つからない場合

対処方法

登録済みのパスキーによる認証ができない場合、ご自身でのログインや設定変更ができません。ログインができない場合は、お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

楽天IDのパスキー利用ガイド

Windows版

Version. 1.00

Rakuten

目次

利用環境を確認する **3**

OSとブラウザのバージョンを確認する 3

Microsoftアカウントにサインインする 4

Windows Helloを設定する 5

パスキーマネージャーを有効にする 6

パスキーを設定する **7**

パスキーでログインする **8**

パスキーを追加する **9**

パスキーを削除する **11**

操作中端末のパスキーを削除する 11

操作中端末で別端末のパスキーを削除する 13

設定状況を確認する **15**

画面別トラブルシューティング **18**

Windowsで二次元コードが表示される 18

メールアドレスによる二要素認証を求められる 20

「この端末のパスキーは既にクラウドへ登録済みです」と表示される 21

解決策が見つからない場合 **22**

利用環境を確認する

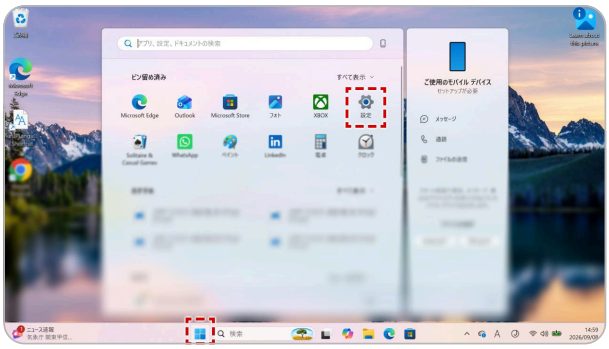
OSとブラウザのバージョンを確認する

パスキーを利用するには、Windows 11以上である必要があります。

以下の手順で、現在のWindowsバージョンをご確認ください。

> ⓘ パスキーを初めて設定する場合は、生体認証が利用できるスマートフォンで設定してください。

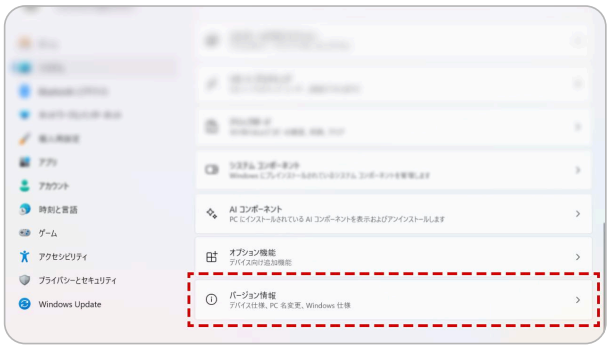
1 ホーム画面の「スタート」から「設定」をクリックします。



2 「システム」をクリックします。



3 「バージョン情報」をクリックします。



4 「エディション」がWindows 11以降であることをご確認ください。



5 利用ブラウザが以下の条件に当てはまるかご確認ください。

- Chrome 109 以降
- Edge 109 以降
- Firefox 122 以降

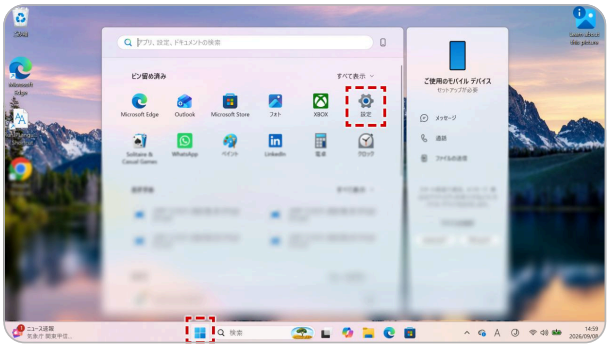
利用環境を確認する

Microsoftアカウントにサインインする

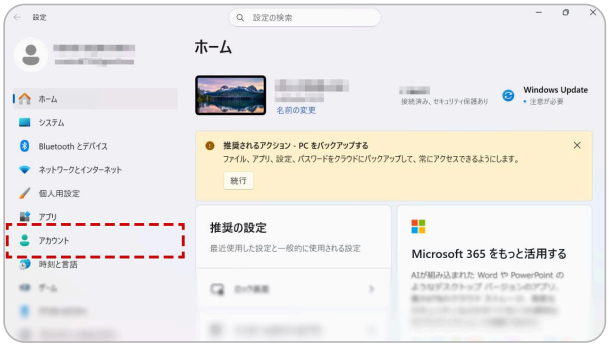
パスキーを作成･同期するには、サインインしている必要があります。

以下の手順で、現在のサインイン状況をご確認ください。

1 ホーム画面の「スタート」から「設定」をクリックします。

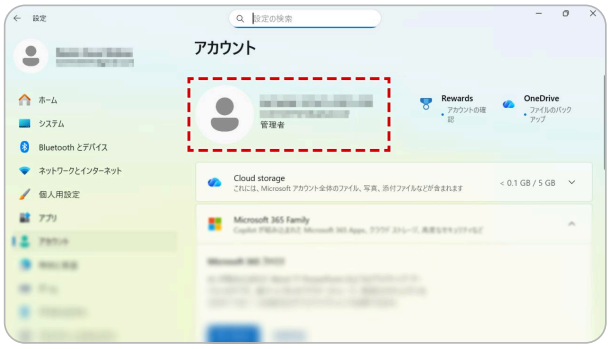


2 「アカウント」をクリックします。



3 画面上部の「アカウント」の項目をご確認ください。「サインイン」をクリックし、Microsoftアカウントとパスワードを入力してサインインしてください。

※サインイン済みの場合は、以下画像のようにご自身のお名前やアイコンが表示されます。クリックすると登録されているメールアドレスなどの詳細が確認できます。

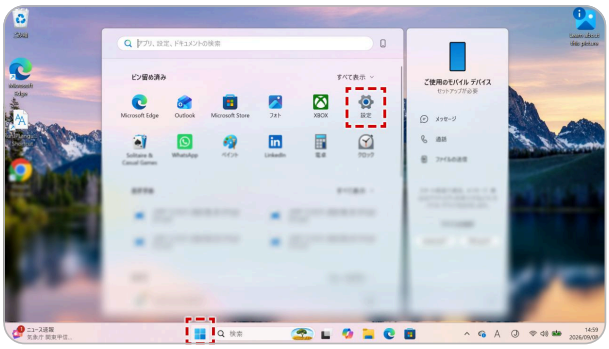


利用環境を確認する

Windows Helloを設定する

以下の手順で、Windows Helloを設定してください。

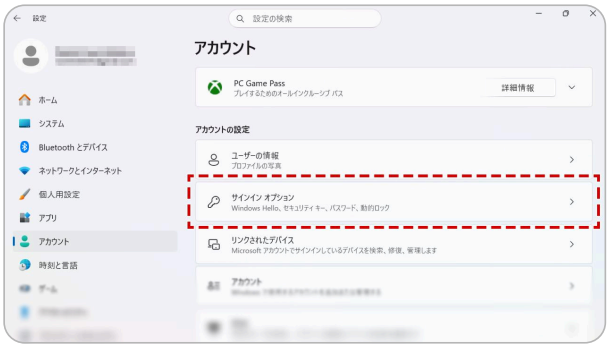
1 ホーム画面の「スタート」から「設定」をクリックします。



2 「アカウント」をクリックします。



3 「サインイン オプション」をクリックします。



4 「PIN（Windows Hello）」をクリックします。



5 「セットアップ」をクリックし、Windows Helloを設定してください。

※設定済みの場合は、以下画像のように「PINの変更」が表示されます。
※端末の機種により、顔認証や指紋認証も設定しておくとスムーズにお使いいただけます。

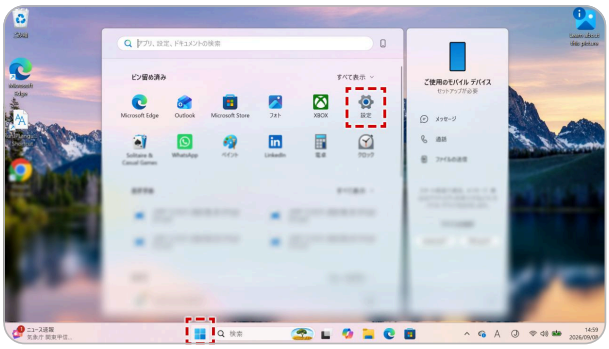


利用環境を確認する

パスキーマネージャーを有効にする

以下の手順で、パスキーマネージャーを有効にしてください。

1 ホーム画面の「スタート」から「設定」をクリックします。



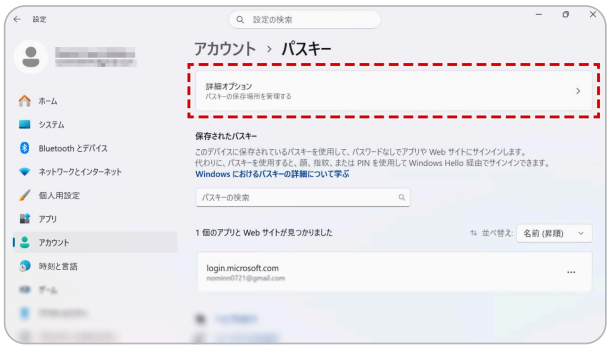
2 「アカウント」をクリックします。



3 「パスキー」をクリックします。



4 「詳細オプション」をクリックします。



5 「パスキーマネージャー」を有効にします。

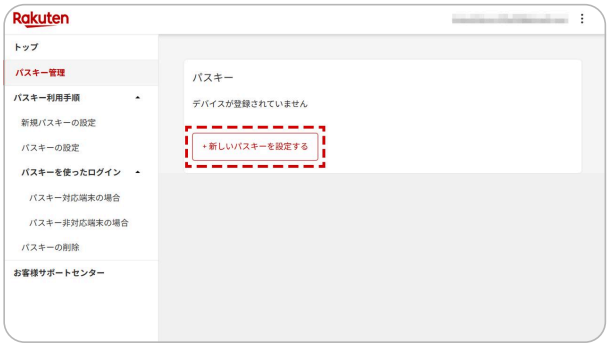


パスキーを設定する

ⓘ パスキーを初めて設定する場合は、生体認証が利用できるスマートフォンで設定してください。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、「新しいパスキーを設定する」ボタンをクリックします。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 「パスキーを設定する」をクリックします。



3 表示されたメールアドレスに届いた認証コードを入力し、「認証して設定に進む」をクリックします。

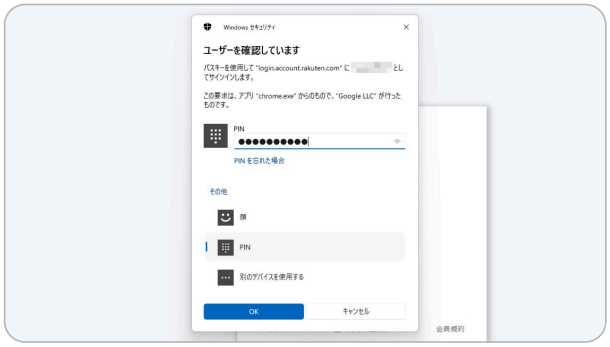


4 認証方法を選択します。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



5 生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



6 「パスキーが設定されました」と表示されたら完了です。



パスキーでログインする

パスキー設定済みの端末では、以下の手順でパスキーを利用できます。

1 楽天サービスのログイン画面で、ユーザID(またはメールアドレス)を入力し、「次へ」をクリックします。

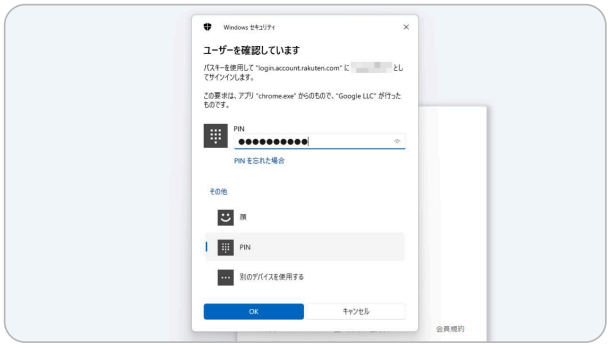


2 認証方法を選択します。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



3 生体認証(顔認証、指紋認証)または端末のロック解除方法(パスコード、PIN、パターンなど)で本人認証を行います。



4 本人認証が完了すると、自動的にサービスの画面へ遷移し、ログインが完了します。

※ログイン後の画面は、ご利用のサービスによって異なります。

パスキーを追加する

操作中の端末にパスキーを設定する際、パスキー設定済みの別端末をお持ちの場合は、セキュリティ保護のため別端末での認証が必要です。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 操作中の端末で「パスキー管理ページ」にアクセスし、「新しいパスキーを設定する」をクリックします。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 本人認証のため「次へ」をクリックします。



3 画面に二次元コードが表示されます。



4 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。

※端末の機種により、二次元コードの読み取り方法が異なる場合があります。



5 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



6 別端末での本人認証が完了すると、操作中端末の画面が切り替わります。「パスキーを設定する」をクリックします。

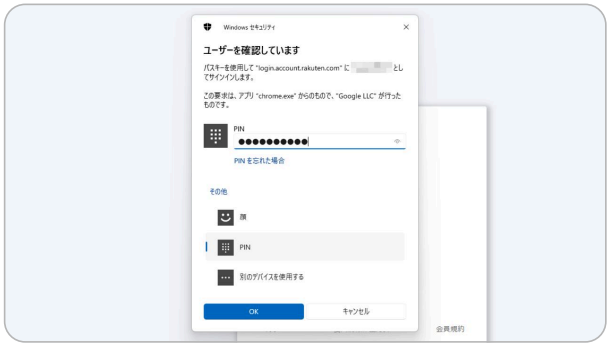


7 「OK」をクリックします。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



8 生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



9 「パスキーが設定されました」と表示されれば、この端末での追加設定は完了です。



ⓘ パスキー設定状況がわからない場合

パスキーが設定されている端末を確認したい場合は、「設定状況を確認する」（→p.15）をご確認ください。

パスキーを削除する

操作中端末のパスキーを削除する

「パスキー管理ページ」から削除できます。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、削除したいパスキーの右側にあるメニューをクリックして、「登録を削除する」を選択します。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 確認画面が表示されるので、「登録を解除する」をクリックします。

※表示されるメッセージは、パスキーの登録状況によって異なります。



3 本人認証のため「次へ」をクリックします。



4 認証方法を選択します。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



5 生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



6 「パスキーを削除しました」と表示されれば完了です。

※すべてのパスキーを削除した場合は、セキュリティ保持のため自動的にログアウトされます。



パスキーを削除する

操作中端末で別端末のパスキーを削除する

操作中端末で別端末のパスキーを削除したい場合は、パスキー設定済み端末による本人認証が必要です。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスし、削除したいパスキーの右側にあるメニューをクリックして、「登録を削除する」を選択します。

※このボタンは、パスキーに対応した端末およびブラウザでのみ表示されます。



2 確認画面が表示されるので、「登録を解除する」をクリックします。

※表示されるメッセージは、パスキーの登録状況によって異なります。



3 本人認証のため「次へ」をクリックします。



4 画面に二次元コードが表示されます。



5 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。

※端末の機種により、二次元コードの読み取り方法が異なる場合があります。



6 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。

※端末の機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



7 別端末での本人認証が完了し、操作中の端末で「パスキーを削除しました」と表示されれば完了です。

※すべてのパスキーを削除した場合は、セキュリティ保持のため自動的にログアウトされます。



ⓘ **別端末で二次元コードを読み取れない場合**

画面別トラブルシューティング「Windowsで二次元コードが表示される」をご確認ください。（→p.18）

設定状況を確認する

パスキーの設定状況が不明な場合、または二次元コードやエラー画面が表示される場合は、「パスキーが今の端末にない場合」→**【パターンB】**をお試しください。

1 「パスキー管理ページ」にアクセスします。ユーザID（またはメールアドレス）を入力し、「次へ」をクリックします。

※パスキー利用環境に対応していない場合、またはパスキーを設定していない場合は、自動的にパスワード入力画面へ遷移します。



2 1のパスキー設定状況に応じて下記手順をご確認ください。

パスキーが今の端末にある場合

1. 端末の生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスワード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



2. 本人認証が完了すると、「パスキー管理ページ」が表示されます。



パスキーが今の端末にない場合

操作中端末の画面に二次元コードが表示されます。

A. パスキー設定済み別端末が手元にある場合：
→**【パターンA】へ**

B. パスキー設定済み別端末が手元にない場合：
「**キャンセル**」をクリックします。
→**【パターンB】へ**



3 選択した方法でログイン認証を行います。

パターンA

1. 操作中端末の画面に二次元コードが表示されます。パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。



2. 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスワード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。



パターンB

1. 「パスワードを使用する」をクリックします。



2. パスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



4 本人認証が完了すると、パスキー管理ページが表示されます。

パスキー管理ページで確認できる内容



1. **登録済みの端末名**
2. **パスキーの登録日時**
3. **パスキーに紐づいたOS端末とブラウザ名**

ブラウザ名から、パスキーがどのクラウドのアカウントに保存されているかを確認できます。

- **「Safari」と表示されている場合**
  Apple AccountのiCloudキーチェーンに保存されています。
  （例:macOS - Safari、iOS - Safari など）
- **「Chrome」と表示されている場合**
  Googleパスワードマネージャーに保存されています。
  （例:macOS - Chrome、Android - Chrome など）
- **その他のブラウザ（Edgeなど）の場合**
  各ブラウザが提供する管理ツール、またはOSの機能に保存されています。

4. 最終利用日時（更新日時として表示されます）

Windowsで二次元コードが表示される



原因

操作中端末にパスキーは設定されていないが、パスキー設定済みの別端末が存在する場合、認証用の二次元コードが表示されます。

対処方法

1. **設定状況を確認する**
   「パスキー管理ページ」にアクセスし、パスキー設定済みの別端末についてご確認ください。(→p.15)
2. **別端末で二次元コードを読み取れるか確認する**
   ·読み取れる場合
   カメラで二次元コードを読み取り認証を行ってください。(→p.19)
   ·読み取れない場合(パソコンなど)
   別端末で「パスキー管理ページ」を開き、「操作中端末のパスキーを削除する」を参考に別端末のパスキーを削除してください。(→p.11)
3. **操作中の端末でパスキーを設定する**
   「パスキー管理ページ」から設定してください。(→p.7)設定後、パスキーでのログインを再度お試しください。

> ⓘ **パスキー設定済みの別端末が手元にない場合**
> お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

Windowsで二次元コードが表示される

別端末で二次元コードを読み取ることができる場合は、以下の手順で認証を行ってください。

※ここでは、別端末をiPhoneとして説明します。

1 画面に二次元コードが表示されます。



2 パスキー設定済み別端末のカメラで、表示された二次元コードを読み取ります。



3 別端末に表示される「パスキーでサインイン」または「パスキーを使用」をタップし、生体認証（顔認証、指紋認証）または端末のロック解除方法（パスコード、PIN、パターンなど）で本人認証を行います。

※スマートフォンの機種により、表示されるメッセージが異なる場合があります。



4 別端末での本人認証が完了すると、操作中の端末で自動的にサービスの画面へ遷移し、ログインが完了します。

※ログイン後の画面は、ご利用のサービスにより異なります。

メールアドレスによる二要素認証を求められる

パスキーを設定済みであっても、以下の理由によりメールアドレスによる二要素認証（認証コードの入力）へ切り替わることがあります。



原因

1. ご利用環境がパスキー非対応である
   ご利用のブラウザや端末がパスキーの利用条件を満たしていない場合、セキュリティ保持のため、自動的にメールアドレスによる二要素認証へ切り替わります。詳細は「利用環境を確認する」（→p.3 ）をご確認ください。
2. サービス側のセキュリティ仕様である
   サービスや機能の仕様により、パスキー設定の有無にかかわらずメールアドレスによる二要素認証が必要となる場合があります。

対処方法

設定の確認に時間がかかる場合や、お急ぎの場合は、登録メールアドレス宛に届く「認証コード」を入力することでもログインが可能です。

「この端末のパスキーは既にクラウドへ登録済みです」と表示される



原因

このメッセージはエラーではありません。操作中端末のブラウザ·アプリが連携しているクラウドのアカウント（Googleパスワードマネージャー、Microsoftアカウント、またはWindows Hello）にパスキーが保存されている場合に表示されます。

- **Chromeの場合**
  Googleパスワードマネージャーに保存されています。
- **Edgeの場合**
  Microsoftアカウント（Windowsの同期機能）またはブラウザのパスワードマネージャーに保存されています。
- **Firefoxの場合**
  Firefoxのパスワードマネージャー（Lockwise）に保存されています。

対処方法

この画面が表示された場合、操作中の端末やブラウザでパスキーの設定は完了しています。

クラウドのアカウントにパスキーが存在しない場合

クラウドのアカウントに保存されているパスキーは誤って削除しないようご注意ください。削除してしまった場合は、お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。

解決策が見つからない場合

対処方法

登録済みのパスキーによる認証ができない場合、ご自身でのログインや設定変更ができません。ログインができない場合は、お手数ですが「楽天グループお問い合わせ一覧ページ」をご確認の上、対象サービスのカスタマーサポート窓口までお問い合わせください。